

児童センターは遊び、学びの宝箱



栗山町児童センターでは、子どもたちが「食への関心を持ち、楽しい食事を体験する」事業を行っており、年3回、カレーライスとデザートを提供しています。この事業は、学校の長期休みの際に、職員が調理・提供していますが、子どもたちのクッキング教室も一緒に実施しており、小学2年生はデザートの盛り付けを、3年生は包丁で野菜を切ることで、実際の料理を体験します。

自分たちが作った料理を友達と一緒に食べることは、より美味しくなるのか、おかわりがとても多く、毎年子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。

このような体験を定期的に行うなど、自分の新たな可能性と出会う機会を大切に活動しています。

栗山町児童センター

児童センターは、文化・スポーツ・学芸・自然などの遊びを通して子どもの健康を増進し、情操豊かにするとともに、ふるさとを愛する子どもを育てることを目的とした施設です。

小学生の留守家庭児童を対象とした放課後児童クラブ、一時預かり事業も行っています。

【開館日】
月曜日～土曜日（祝日・年末年始除く）

【開館時間】
10：00～17：00
※児童クラブは8：00～18：30

【問い合わせ】
福祉課福祉・子育てグループ
☎ 73-2222



クッキング教室に参加した小学3年生の声



おばたけ こと
大島 湖音 ちゃん

初めて包丁を使いました。人参が硬くて切るのが難しかったけど、楽しかったです。お母さんが作るカレーライスと同じくらい美味しかったです。



わびこ かずお
我孫子 和男 くん

とても楽しみにしていました。じゃがいもを切るのが大変だったけど、面白かったです。カレーライス美味しかったです。



ゆち さき
湯地 彩希 ちゃん

お母さんが料理している所をよく見ているけど、いざ自分が包丁を持ったときはドキドキしました。友達とみんなで食べるのが楽しかったです。



あなたに合ったがん検診

町では死亡率を減少させる効果のある5つのがん（胃、肺、大腸、子宮、乳）検診の費用を助成しています。これらのがんは罹患率が高いですが、早期に発見すれば診断時からの5年生存率が90%以上であり、治る確率の高い部位のがんです。年齢や性別でかかりやすいがんは異なり、ご自身にあったがん検診を受けていただくことが重要です。該当する年代をご覧ください、この機会にぜひお受けください。

受診してほしいがん検診ランキング（リスクの高いがん）

肺がん検診でがんが見つかった方の7人に1人が北海道民です。たばこを吸う方は必ず肺がん検診を受けましょう。

男性	NO.1	NO.2	NO.3
40代	大腸がん	胃がん	肺がん
50代	大腸がん	胃がん	肺がん
60歳以上	胃がん	大腸がん	肺がん

女性	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5
40代	乳がん	大腸がん	子宮頸がん	胃がん	肺がん
50代	乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	子宮頸がん
60歳以上	大腸がん	乳がん	肺がん	胃がん	子宮頸がん

集団健診のお知らせ

がん検診と特定健診が受診できます。

○総合福祉センター「しゃるる」

11月20日(水) 7：30～、12月8日(日) 7：30～

○札幌がん検診センター

11月21日(木) 7：50 役場から無料バスで送迎

生活習慣病予防健診と特定健診が受診できます。（協会けんぽ主催）

○総合福祉センター「しゃるる」

12月16日(月) 8：45～

※協会けんぽの被扶養者は協会けんぽ北海道支部（保健グループ：011-726-0361）へお問い合わせください。

【予約先】住民保健課健康推進グループ ☎ 73-2256

Web 予約はこちら→



献血にご協力をお願いします

献血で提供された血液は、がんを始めとした病気やけがの治療に役立てられます。輸血を必要とする方のために、皆さまのご協力をお願いします。

10月28日(月)	
時 間	場 所
9：30～10：45	内田鍛工株式会社
12：15～13：00	日本高圧コンクリート株式会社
13：45～16：30	栗山町役場